



【漲る想いを歌に込めて！～合唱コンクール開催～】

1月18日（水）、平塚市中央公民館にて平成28年度合唱コンクールを開催。合唱コンクールのねらいは、「合唱の素晴らしさを学び、歌うことを通して表現する喜びを知る。そしてクラス集団への所属感や連帯感を深める。さらには、創る責任と達成感を学び、自分たちの学校に誇りを持ち、絆を深める。」であり、大原高校時代から歌い継がれてきた伝統行事である。各学年・クラスが共に心を通わせながら、時にはぶつかり、時には涙しながら練習を重ね、ようやく本番のステージを迎える合唱コンが伝統となっている。

当日は、前期課程生である1年生から3年生までが午前発表で、各学年の合唱に続きクラス合唱を行った。1年生にとっては初のステージとなるが、初々しい歌声に2・3年生も当時の姿を思い出したことであろう。

2年生の発表ともなると、レベルが「グン」と上がり、たった1年ではあるがこれほどまでに成長するのかとビックリ！3年生では、合唱の仕方にも工夫が見られ、技術・表現の高まりを感じた。

午後は、後期課程生4・5年次生の発表である。最初に登場するのは4年3組で「青いベンチ」の発表。1年生から3年生と学年が上がることにレベルが高くなり、当然4年生への期待が膨らむ。歌い始めから、「何ということでしょう！」と鳥肌が立つくらい会場を魅了する合唱である。男性・女性の声の質やそれぞれの個性がしっかりと表現され、観衆を引き込んでいく歌声に後期課程生としてのさらなる成長が見られるのではないか。そして4年4組の発表の後、5年1組による「思い出すために」の発表。難しい曲にクラスが一体となって懸命に取り組む姿に、本校での合唱コンの目的は毎年毎年の積み重ねによって達成されていると実感した。

合唱コンの結果として、前期課程は各学年で優秀賞・優良賞の2クラスを、後期課程では最優秀賞と優秀賞・優良賞の3クラスが選ばれた。今年之最優秀賞を受賞したクラス・合唱歌は、5年4組で「くちびるに歌を」であった。各クラス共に優秀な合唱であり甲乙つけ難いところではあったが、その中であって本当に難しい曲にチャレンジし歌いきったところが評価されたと感じている。

4年次生及び3・2・1年生は、来年度に向かってさらなる進化を遂げることを期待したい。今回も多くの保護者に会場いただいた。会場の関係で座席数を確保することが難しく、ご迷惑・ご不便をおかけしました。保護者からの声援も生徒の意欲を高めていますので、引き続きのご協力をお願いします。

